

昨年度活動成果と今年度活動目標

2008年5月16日
オフショアソフトウェア開発部会
主査 齊藤 肇

特定非営利活動法人 UMLモデリング推進協議会

1

部会目標と構成メンバー

部会の目標

UMLが効果的にオフショアソフトウェア開発に使われることにより、リスクの少ない開発ができるようにUMLを普及させる。

主査	齊藤 肇	日本海隆(ハイロン)(株)
副主査	中原 俊政	バブ日立ソフト(株)
副主査	竹政昭利	(株)オージス総研
	藤野 博之	NECネクサソリューション(株)
	吉田 亮	日本アイ・ビー・エム(株)
	日高 綱弘	日本インフォメーション(株)
		他12名

2007年度活動報告

活動目標

完成したガイドラインの普及活動を行い、受託者側の意見も取り入れて、ガイドラインをレビジュンアップさせる。

活動成果

1. ガイドラインは5月に完成
2. 受託者に対するアンケートを実施し、7月に集計終了
3. 受託者側のPMのガイドラインに対するコメントをもらい、1月に集計した。
4. 大連、武漢、ホーチミン、北京、上海でセミナーを実施
5. ガイドラインRevUp3月予定

課題

1. オフショアソフトウェア開発におけるUML普及のポイント調査は、条件がうまく整わず、次年度への継続となった。

2007年度費用報告

費用投入に関する考え方

基本的に効果のある経費の使用に絞込んだ。中国・ベトナムでの普及活動は、国際部の予算で実行した。

費目	予算	実績	差額
CSIAアンケート費用	500K	0	500K
英語圏の実例調査	1000K	0	1000K
ガイドライン作成費用	200K	332k	
親睦費用	100K	59k	－41K
合計	1800K	391k	

2007年度活動トピックス

活動トピックス

ガイドラインの完成	5月
受託者側アンケートの集計	7月
受託者側PMのアンケートの実施	11月
ガイドライン RevUp予定	2008年5月
普及活動としてのセミナーの実施	
大連(5月)、武漢(6月)、ホーチミン(6月)、北京(7月)、上海(10月)、モデリングフォーラム(9月)	

2008年度活動予定

活動目標

ガイドラインの更なる充実を図り、オフショアソフトウェア開発におけるUML使用のメリットの実体調査を行い、UML普及を促進する。

活動目標

1. 海外でのオフショア開発におけるUML普及のポイント調査を実施する。
2. ガイドラインを日本のPMにコメントをもらい反映させる。
3. ガイドラインベースの開発のセミナーを行う。

実行上の課題

1. UML普及のポイント調査をするための予算が必要。
2. ガイドラインをベースに開発した事例に出来るだけ情報の公開をしていただける理解をいただく。

2008年度体制

主査	齊藤 肇	日本海隆(ハイロン)(株)
副主査	中原 政俊	バブ日立ソフト(株)
副主査	竹政 昭利	(株)オージス総研
		他15名

新規メンバー募集の有無	有	無
新規メンバーへの期待		

2008年度活動費用見積もり

費用投入に関する考え方

本年は、海外のオフショアソフトウェア開発におけるUML使用のメリットを明確化することに力点を置く。

費目	予算	昨年度実績	差額
海外でのUMLの普及の ポイント調査	300K	0	300K
ガイドラインを利用した 開発のまとめ	200K	0	200K
ガイドライン改訂	200K	332k	-132K
親睦費用	100K	59k	41K

2008年度活動マイルストーン

テーマ	1Q	2Q	3Q	4Q
部会	毎月一回開催			
成果報告	ガイドライン 改訂報告	中間報告		成果報告
イベント		モデリング フォーラムの セッションで 発表		